

資料番号

地域3

令和6年9月12日

課名 地域政策局中山間地域振興課

担当者 課長 横田

内線 2631

令和5年度

中山間地域の振興に関する 主な施策の実施状況

令和6年9月

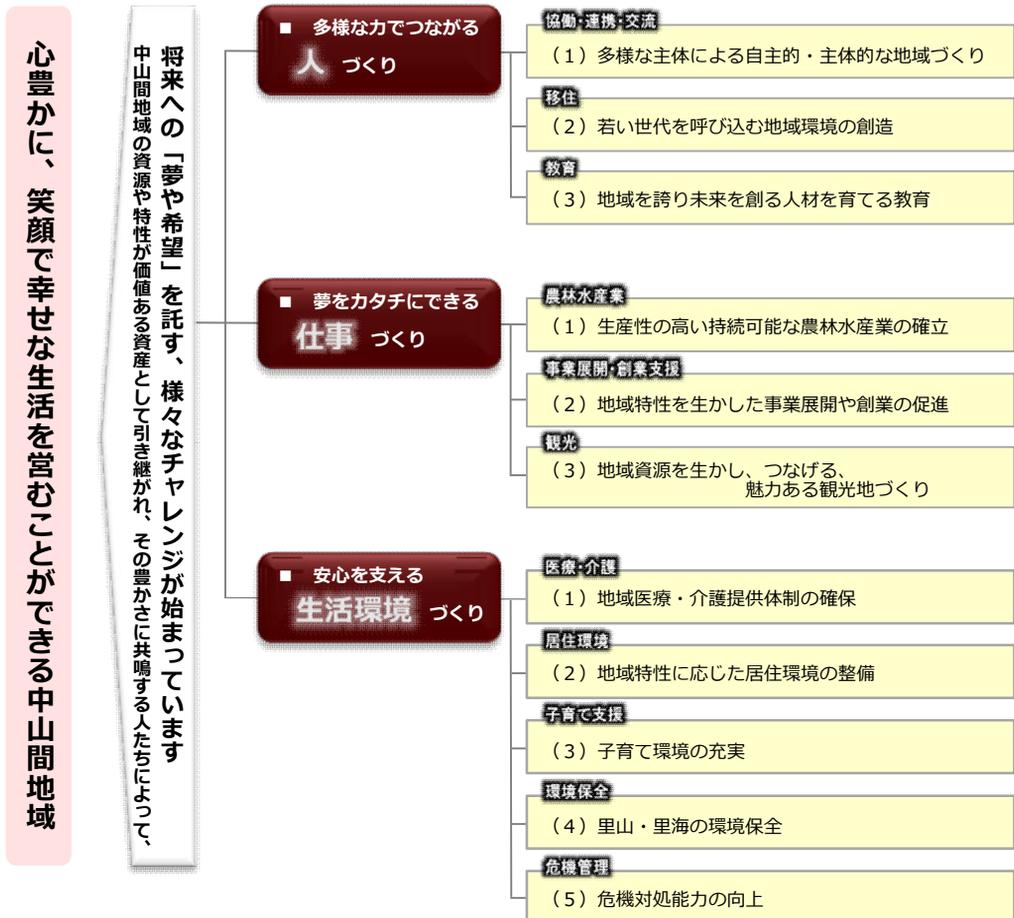
広島県

1 令和5年度の取組状況

- 「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」に基づき、活性化の原動力となる「人づくり」に重点を置いて、地域づくりに取り組む多様な人材の裾野拡大に加え、地域と協働して行う、新たなチャレンジの後押しを行った。
- 産業面からは、就業機会の創出に向けて企業のサテライトオフィス誘致等に取り組む市町を、生活面からは、デジタル技術を活用した生活サービスを導入しようとする市町を支援した。
- また、中山間地域の集落対策の推進方向を検討するため、安芸太田町及び神石高原町の協力の下、2町内の全ての住民自治組織を対象とした集落実態調査を実施した。
- これらの調査から得た知見等を踏まえ、有識者による「広島県集落対策に関する検討会議」を設置し、「広島県における今後の集落対策 最終取りまとめ」を整理した。
- 最終取りまとめを踏まえた第Ⅱ期中山間地域振興計画の改定も見据え、「人」、「仕事」、「暮らし」の3つの柱に沿った実効ある施策を着実に推進する。

《施策の体系》

～「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」から抜粋～



2 主な取組の概要

ひと

(1) 多様な力でつながる 人づくり

- ◇ 人口減等が進む中山間地域を支えていくため、地域づくりに取り組む多様な人材の裾野の拡大や、チーム500の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う、新たなチャレンジを後押しした。
- ◇ 地域の資源と呼べるスポーツの様々な力を活用して、地域の活性化や一体感を醸成するため、スポーツを核とした地域づくりを推進した。
- ◇ 東京都内での移住フェアやオンラインを含むセミナーを開催したほか、ホームページ「HIROBIRO.」への市町ページの設置やセミナーのアーカイブ動画配信など、リアルとオンラインを組み合わせた形で、各種事業を実施した。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値 (R1)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数	345人	555人	714人	680人
地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数	3市町 (R2)	10市町	11市町	14市町
移住希望地域ランキング	2位	5位(セミナー) 5位(窓口)	7位(セミナー) 10位(窓口)	5位以内を維持
県外からのUIターン転入者数 (全域過疎市町)	271人	291人	230人	301人
地域に貢献しようとする意欲を持っている中山間地域の県立高校生徒の割合	62.7%	80.0%	67.5%	80.0%

◆ **新たな人材の確保に向けた機運醸成や実践人材の育成【地域政策局】**

新たな地域づくり実践者の確保に向けた機運醸成や実践人材の育成を推進

《ひろしま「ひと・夢」未来塾》 第9期

実践的な地域づくりや起業に向けたノウハウや手法を学ぶ人材養成塾

・受講生 30人（起業準備コース：17人、生活課題解決コース：13人）

◆ **ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト【地域政策局】**

地域貢献に意欲のある首都圏等の人材を呼び込み、課題解決を通じた地域とのつながりをつくるため、市町と連携した現地実習等を実施し、4市町で現地実習やオンラインを活用した課題解決プランの作成、発表会を実施

◆ **「ひろしま里山・チーム500」の運営【地域政策局】**

地域づくりをリードする人材の活動が、将来にわたり主体的かつ継続的に展開していくよう、チーム500に登録する人材を対象に、人材ネットワークの強化や、活動に要する資金の調達支援などを実施

《専用ポータルサイトの運営及び交流機会の創出》

[活動状況]

[登録者数]

	年度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
[地域を超えた実践者間の連携拡大]									
➤ チーム500登録者の連携による「さとやまマルシェ」の開催	目標	70人	255人	290人	325人	360人	425人	490人	555人
➤ ポータルサイトを活用したメンバーと関心層との交流促進	実績	70人	260人	294人	345人	381人	493人	598人	714人

《クラウドファンディングを活用した課題解決支援》

地域内外からの共感獲得に向けた優良プロジェクトの資金調達を支援

・活用件数：9件

・調達総額：20,907千円（募集総額：16,700千円・調達率：125.2%）

◆ **元気さとやま応援プロジェクト【地域政策局】**

中山間地域に暮らす人々が将来に向けて、地域の元気さを実感できる環境を創出するため、チーム500の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の立ち上げの支援を実施

・交付件数：60件（48,822千円）

◆ 集落対策の実施【地域政策局】

有識者で構成する「広島県集落対策に関する検討会議」を設置し、協力2町（安芸太田町、神石高原町）での集落实態調査の実施とともに、これまでの調査結果から得た知見等も踏まえ、次の3点を検討の視点に置いた具体的な対応方策など、今後の集落対策について議論を実施

〔3つの検討の視点〕

- ・地域の持続可能性を高める「地域間の機能分担・資源の再配置」
- ・かつてないスピードで進む人口減少を踏まえた「これまでの延長線上にはない地域運営」
- ・一律の行政サービスの提供が困難になることも見据えた「安心して暮らせる生活環境」

議論の結果、令和6年2月に「広島県における今後の集落対策 最終取りまとめ」を整理
また、令和6年3月、三次市において、住民、住民自治組織、市町、県及び関係機関等、関係者が一体となって、集落の課題や対策に取り組む意義等について、広く県民の理解を深めるためのシンポジウムを開催

◆ スポーツを活用した地域活性化推進事業【地域政策局】

県内市町が主体的に取り組む、様々なスポーツ資源を活用した地域活性化「わがまち♡スポーツ」に対し、ノウハウや人脈などの人的支援及び補助金による財政的支援を実施

- ・わがまち♡スポーツ取組市町 11市町

〔取組状況〕

- R2年度～ 福山市・府中市・北広島町
- R3年度～ 呉市・三次市・廿日市市
- R4年度～ 尾道市・大崎上島町
- R5年度～ 広島市・三原市・安芸太田町

◆ ひろしまスタイル定住促進事業【地域政策局】

都市と自然が近接した広島の特性を生かしたライフスタイルの魅力を発信するとともに、移住希望者と地域のマッチングや市町の受け皿づくりを支援

- ・ひろしま暮らしサポートセンター相談数 4,001件 (R4: 4,011件)
- ・県と市町が連携した定住フェアの実施 3回 (相談組数: 延べ462組)
- ・移住専用HP「HIROBIRO.」の閲覧者 9,980人/月 (R4: 9,978人/月)

◆ 学びの変革推進事業【教育委員会】

都市部の学校と比較して、多様な価値観や高度な学びに触れる機会が限定されやすい中山間地域の小規模校等において、学校規模や地理的状況に捉われることなく、質の高い学びを享受できる学習環境を整えることで、「学びの変革」の更なる充実に必要な教育環境を全県で整備

- ・遠隔授業の実施校 12校：中山間地域の高等学校3校と都市部の高等学校1校の4校で構成するコンソーシアム（3地域）において実施

- ◇ 「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とする「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、地域の核となる企業経営体の育成をはじめ、スマート農林水産業の導入による生産性の向上や、県産農林水産物のブランド化・付加価値化などの取組を進めた。
- ◇ 企業のサテライトオフィスを誘致する市町の取組を支援するとともに、意欲ある人材の創業や新たな事業展開を支援した。
- ◇ 観光面では、地域資源を生かした観光プロダクトの開発に加え、国内外の観光客が、快適かつ安全安心に周遊を楽しめるよう、隣県との共同事業やスキー場を活用した情報発信等を行ったほか、G7広島サミットを契機とした受入環境整備や、国内外に向けた本県の多様な魅力発信にも取り組んだ。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値 (R1)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
農業生産額（畜産を除く）	712億円 (H30)	723億円 (R4)	707億円 (R4)	736億円
広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	1,800頭 (H30)	2,510頭	2,649頭	2,730頭
経営力の高い林業経営体数	2社	11社	11社	15社
行政・経済団体・金融機関等連携による「オール広島創業支援ネットワーク」を利用した創業件数（全域過疎市町）	18件	現状水準を維持	14件	現状水準を維持
年間総観光客数（全域過疎市町）	1,543万人	1,709万人	1,333万人	1,709万人 (R4目標水準を維持)

◆ **経営力向上支援事業【農林水産局】**

企業経営への転換を目指し、経営者意識の醸成と経営発展段階に応じた経営管理の手法を習得する講座（ひろしま農業経営者学校）を開講するとともに、人材育成や予算・実績管理など担い手の経営課題の解決に向けた専門家派遣による伴走型支援等を実施

◆ **食のイノベーション推進事業【農林水産局】**

経営体と様々な企業が連携して、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発するプロジェクトの立ち上げを支援し、審査会を経て採択された6プロジェクトについて、実行計画の実現に向けた専門家による伴走支援と現地実証経費の支援を実施

◆ **ひろしま型スマート農業推進事業【農林水産局】**

本県の中山間地域に対応した「ひろしま型スマート農業技術」の確立に向け、企業等が県内の農業者のほ場を実証フィールドに、新たに3テーマを加え、計9テーマで実証を行うとともに、ひろしまスマート農業推進協議会において、本事業で改良した技術を体験するセミナー等を開催し、農業者の意見を技術改良に反映

◆ **広島和牛ブランド構築事業【農林水産局】**

広島和牛のブランド力強化に向け、料理人と連携した高級飲食店での定期提供、魅力を訴求するための科学的根拠の精度向上及びSNSや雑誌等様々な媒体を活用したPR等を実施

◆ **広島和牛経営発展促進事業【農林水産局】**

畜産経営体の飼養頭数の拡大に向け、和牛受精卵の供給体制の強化、酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定の拡大及び畜産経営体の経営力向上のための集中支援を実施

◆ **林業・木材産業等競争力強化対策事業【農林水産局】**

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を支援

◆ **水産業スマート化推進事業【農林水産局】**

デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化に向け、漁場に設置した水温センサーのデータを活用した身入りの良いかきの安定生産等の実証に取り組むとともに、水産資源の回復に向け、海底耕うんによる漁場環境改善効果の検証等を実施

◆ **瀬戸内地魚のブランド化推進事業【農林水産局】**

瀬戸内の地魚の認知度向上を図るため、シンボルマークの活用に加え、冊子配布や動画配信、インフルエンサーや漁業者からの情報発信に取り組んだほか、17の共創店舗において漁業者との交流会を含む営業実証を実施

◆ **鳥獣害に強い集落等育成推進事業【農林水産局】**

野生鳥獣による農作物被害額の低減に向け、広域的かつ戦略的な対策を進めるプロフェッショナル組織「テゴス」を立ち上げ、市町が作成した鳥獣被害対策プログラムの実施を支援

交付金を活用した侵入防止柵や捕獲罠の整備、市町の要請に基づく広域捕獲等を実施

◆ **チャレンジ・里山ワーク拡大事業【地域政策局】**

中山間地域における新しいワークスタイルの定着と仕事づくりを推進するため、地域資源を活用して企業のサテライトオフィスを誘致する市町を支援

- ・支援対象市町 12市町（呉市、三原市、尾道市、三次市、庄原市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町）
- ・お試しオフィス利用件数 79件
- ・サテライトオフィス進出決定企業数 47社（累計）

◆ **観光地ひろしま推進事業【商工労働局】**

県内周遊の促進や滞在時間の延長に向け、事業者等が行う観光プロダクト開発への支援やデジタル技術等を活用した受入環境の整備のほか、これらの情報を発信するためのプロモーション等を実施

- ・観光プロダクト開発支援件数 3件（全域過疎市町）
- ・G7広島サミットを契機としたインバウンド観光誘客環境整備 7件（全域過疎市町）
- ・Google ビジネスプロフィールの登録・活用支援 14事業者（全域過疎市町）

- ◇ 中山間地域における医師の高齢化や医師不足などの状況を踏まえ、将来の中山間地域の医療を担う医師の育成を図るとともに、へき地医療拠点病院が行う無医地区への巡回診療やへき地診療所に対する代診医の派遣などを支援し、中山間地域における医療提供体制の充実に努めた。
- ◇ また、日常生活に不可欠な生活航路やバス路線など、中山間地域における生活交通の維持・確保に努めるとともに、デジタル技術を活用して生活に身近な地域課題の解決に取り組む市町を支援した。
- ◇ 加えて、多様な主体による自主的・継続的な里山の保全活動への支援など、県民共有の財産としての森林を守り育てるための取組を推進するとともに、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な避難行動を実践できるよう、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動行動計画に基づき、マイ・タイムライン作成等の取組を推進した。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値 (R1)	目標値 (R5)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けられると思う者の割合	55.6% (R2)	64.0%	50.2% (R4)	69.0%
デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出	-	8件	13件	10件以上
安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合 (ひろしま版ネウボラを実施している市町)	80.0%	84.0%	79.6%	86.0%
手入れ不足の人工林の年間間伐面積	617ha	1,010ha	857ha	1,050ha
避難の準備行動ができている人の割合	13.6% ^{注1}	38.0%	9.9% ^{注2}	50.0%

注1:「令和元年度防災・減災に関する県民意識調査」において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動行動計画」で掲げる5つの行動目標を全て実践していると回答した人の割合

注2:注1に、「マイ・タイムラインの作成」も要件に追加

◆ **地域医療介護総合確保事業(広島県地域医療支援センター運営事業)【健康福祉局】**

広島県地域医療支援センターにおいて、県育成医師の配置調整や臨床研修病院と連携した初期臨床研修医の確保、ベテラン医師の再就業支援等を実施

- ・自治医科大学卒業医師の配置 21人 (13医療機関)
- ・ふるさと枠医師等の中山間地域への配置 41人 (6 医療機関)
- ・医学生の中山間地域医療機関の診療見学等 179人 (31医療機関)

◆ **地域医療体制確保事業(医師確保等)【健康福祉局】**

中山間地域に就業する医師確保のための医学生に対する「広島県医師育成奨学金」の貸付や、広島大学医学部で行う地域医療に関する寄附講座の運営を支援することにより、将来の地域医療を担う医師を育成

- ・ふるさと枠医学生に対する奨学金の貸付 114人 (新規貸与20人を含む)
- ・その他の医学生に対する奨学金の貸付 14人 (新規貸与3人を含む)

◆ **地域医療体制確保事業(へき地医療等)【健康福祉局】**

へき地医療支援機構の調整・指導を受けて、へき地診療所等に対する代診医派遣、無医地区等への巡回診療等を行う、へき地医療拠点病院に対し、その施設・設備整備費及び運営費を助成

- ・移動診療車による巡回診療 県内13か所 / 受診者 延べ2,252人

◆ **オンライン診療活用検討事業【健康福祉局】**

今後普及が見込まれるオンライン診療・服薬指導について、安全で適切な利活用を推進

◆ **へき地等巡回診療【健康福祉局】**

瀬戸内巡回診療船「済生丸」の運航を支援し、離島における住民への医療提供を維持するとともに、地域医療に従事する医師の研修機会を確保

- ・巡回診療船による巡回診療 県内12島しょ部 / 受診者 延べ845人

◆ **デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【地域政策局】**

中山間地域における生活に身近な分野における課題の解決に向け、デジタル技術を活用したサービスの実装に取り組む市町を支援

- ・デジタル技術の実装に取り組んだ市町
4市町(呉市、大崎上島町、安芸太田町、神石高原町)

◆ **広島型MaaS推進事業【地域政策局】**

交通と生活サービスの相乗効果を生み出す「広島型MaaS」に取り組む市町の実証実験等を支援

◆ **生活交通確保対策事業【地域政策局】**

地域の幹線的な事業者バス路線を重点的に維持し、広域的な生活交通を将来にわたり安定的に確保

- ・補助対象事業者数 15事業者(補助対象系統数55系統)

◆ **市町生活交通支援事業【地域政策局】**

日常生活を支える市町等運行路線を維持するとともに地域の実情に応じた再編を促進することで、身近な生活交通を将来にわたり安定的に確保

- ・補助対象市町数 20市町(補助対象系統数355系統)

◆ 離島交通対策事業【地域政策局】

国の補助制度を補完し、離島航路所在市町に対して航路の維持・改善を図るための支援を行い、離島住民にとって必要不可欠な生活交通を確保

・支援市町 5市町（呉市、尾道市、福山市、大竹市、大崎上島町）／ 支援航路 7航路

◆ ひろしま版ネウボラ構築事業【健康福祉局】

ひろしま版ネウボラの全県展開に向け、市町と理念を共有した上で、基本型の導入や実施に要する経費等を支援するとともに、ネウボラ相談員の質の向上を図るため、ガイドラインに沿った人材育成研修を実施

・補助対象市町数（中山間地域を有する市町）

実施市町 14市町（呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、廿日市市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、世羅町、神石高原町）

◆ ひろしまの森づくり事業【農林水産局】

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、手入れ不足の人工林の間伐や里山林の保全管理、住宅等に県産材を利用する建築会社への助成など、県民全体で森林を守り育てる取組を支援

◆ 海ごみ対策推進事業【環境県民局】

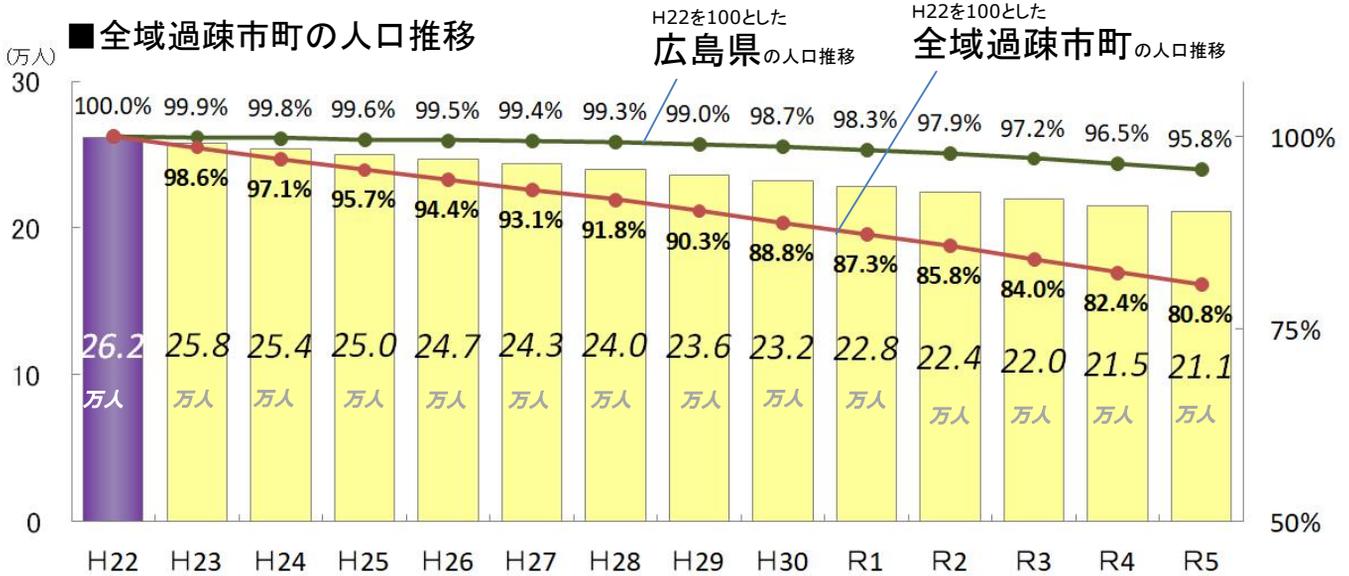
市町が行う海ごみの回収・処理等の取組を支援するとともに、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」の参画会員等と連携し、プラスチックの使用量削減・代替素材に係る先進的な取組への支援（リーディングプロジェクト支援補助金）や、ごみの流出防止に係るモデル事業の実施、海岸等での清掃活動など、総合的・効果的な海ごみ対策を推進

◆ 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【危機管理監】

県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践できるよう、「ひろしまマイ・タイムライン」の普及促進や自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築・実践の促進、初動・応急対応の強化など、「自助」、「共助」、「公助」にわたる、より効果の高い被害防止策を実施

《中山間地域の人口》

〔広島県人口移動統計調査より算出〕



令和5年の市町別人口増減

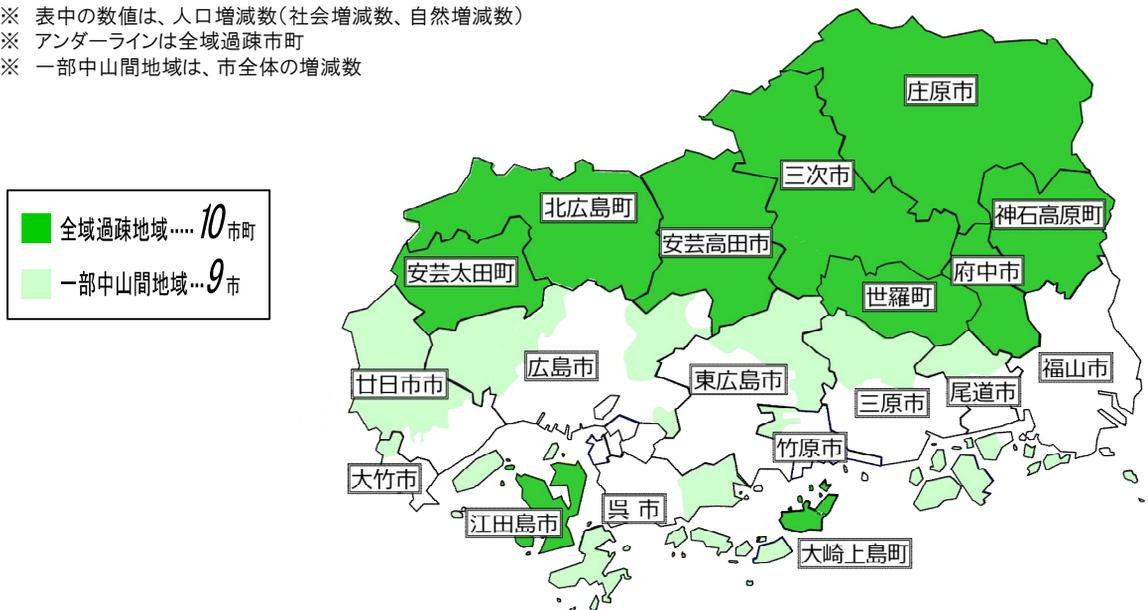
(令和4年10月1日～令和5年9月30日) (単位:人)

	自然増加		自然減少		社会増加		社会減少	
社会増加	海田町	242 (210 32)	東広島市	300 (930 ▲ 630)	廿日市市	▲ 270 (467 ▲ 737)	安芸高田市	▲ 305 (109 ▲ 414)
			熊野町	89 (257 ▲ 168)	三原市	▲ 1,089 (30 ▲ 1,119)		
			大崎上島町	▲ 152 (5 ▲ 157)				
			世羅町	▲ 254 (35 ▲ 289)				
社会減少			広島市	▲ 5,940 (▲ 1,487 ▲ 4,453)	江田島市	▲ 466 (▲ 55 ▲ 411)		
			呉市	▲ 3,783 (▲ 1,243 ▲ 2,540)	大竹市	▲ 322 (▲ 21 ▲ 301)		
			福山市	▲ 2,778 (▲ 152 ▲ 2,626)	北広島町	▲ 311 (▲ 18 ▲ 293)		
			尾道市	▲ 1,753 (▲ 49 ▲ 1,704)	府中町	▲ 269 (▲ 193 ▲ 76)		
			三次市	▲ 784 (▲ 162 ▲ 622)	神石高原町	▲ 265 (▲ 69 ▲ 196)		
			庄原市	▲ 677 (▲ 66 ▲ 611)	坂町	▲ 193 (▲ 97 ▲ 96)		
			府中市	▲ 631 (▲ 88 ▲ 543)	安芸太田町	▲ 155 (▲ 13 ▲ 142)		
			竹原市	▲ 490 (▲ 114 ▲ 376)				

※ 表中の数値は、人口増減数(社会増減数、自然増減数)

※ アンダーラインは全域過疎市町

※ 一部中山間地域は、市全体の増減数



《令和5年度のトピックス》

4月

- 庄原市の「道の駅たかの」が開業10周年(4月)

5月

- 広島県における離島振興の指針となる「広島県離島振興計画」を策定(5月)

6月

- G7広島サミットの各種プログラムにおいて、比婆牛や瀬戸内さかなをはじめとする県産食材を提供、贈答品や会議用円卓にも県産木材が使用されるなど、県産品の魅力を国内外へ広く発信(5月)

7月

- ユネスコ無形文化遺産「壬生の花田植」が4年ぶりに有観客で開催(6月)

8月

- 女子野球タウンの認定を受けた三次市で、第9回WBSC女子野球ワールドカップ・グループBを開催、侍ジャパン女子代表が全勝でファイナルステージに進出(9月)

9月

- 県域で効果的な鳥獣被害対策に取り組むプロフェッショナル組織「テゴス」の設立(9月)

10月

- 食の”稼ぐ力”ビジネスの創出支援プログラム「Hiroshima FOOD BATON (ひろしまフードバトン)」が第2期プロジェクトを採択(10月)

11月

- 神石高原町でドローンによる弁当配達の実証実験を開始(11月)

12月

1月

- 三次市で地域活性化の取組を行うチーム500登録者が、地域活性化に貢献した団体・個人に贈られる総務省の「ふるさとづくり大賞」を受賞(1月)

2月

- 「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画(第2期)」を策定(3月)

3月

- 芸備線備後庄原駅～備中神代駅間を特定区間とする「第1回芸備線再構築協議会」開催(3月)